

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

268号

2024年4月30日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 裁判はいま

- ・5月21日(火)13時30分より
- ・東京地方裁判所103号大法廷

原告側口頭弁論を30分行ないます。新航路によって落下物の危険性や騒音に悩まされている常盤台住民には知って貰いたい内容です。お誘い合わせて傍聴に行きませんか。

○ 整備不十分か事故多発

18日午後4時50分ごろ、羽田空港を出発し、新千歳空港に着陸するため降下していた日本航空521便、エアバスA350型機が、函館市から東方30キロの上空で無線機が故障しました。

管制官とのやりとりが不可能となり、無線機が故障したことを示す信号を発したそうです。このため、空港の光の色によって指示を出す専用の装置が使用され、機体は照射された光で管制の指示を受け、午後5時半ごろ、新千歳空港に着陸。無線機は複数ありましたが全て故障したのかどうかなどはまだ不明だそうです。これも整備士不足による整備不良でしょうか。

○ 未熟なトルコ機 あわや接触事故

4月20日19:15羽田空港でゴーアラウンド機のターキッシュエアラインTK199便が、千葉市からのLDA着陸運用時、B滑走路に着陸しなければならないのに、D滑走路に直前で進路変更し、既に着陸体制に入っていたスターフライヤー機に異常接近着陸。この前の海保とJAL機のように追突しかねなかったそうです。

トルコ機によるヒヤリハットは何回も起きているとか。

○ タワーマンションの不安

東京都中央区の臨海部・豊海地区で建設中のタワーマンション「ザ 豊海タワー マリン&スカイ」の販売活動が休止。コンクリートの強度検査の結果、強度精査の必要が出てきた。

豊海タワーは、「豊海地区第一種市街地再開発事業」の中核になるタワーマンション。大手ゼネコンが設計と施工を担当し、地上53階地下1階建て。2棟のタワー部分が住居となり、総戸数2046戸のうち1509戸が一般販売される予定。昨年1月に着工し、現在は基礎部分の工事を終えて、1~2階の構造部分を工事中。竣工予定は26年11月下旬、マンションへの入居予定は27年6月としていた。

また、100mを超す高層建築の地震に対する揺れの実態や対策については未知の分野で、電気や水道が不通となった場合の住民の困難については容易な想像と実例が知られている。しかし、タワマン建設は勢いを増しており、しかも高齢者ほど高層部に住むという。何十年か後には廃墟と化したタワマンを解体する事も出来ず、ひどい事態が現出しているのではないかと。

○ 高層階からの子供の転落

つい先日もタワーマンションの高層階から幼い女の子が転落して死亡した事故がありました。柵はあっても何かを足台にして乗り越えてしまうのです。高所平気症という言葉もあります。人間にとって高所からの落下は重力のある地球上では命に関わる危険行動ですが、その感覚を高所で暮らしているうちに慣れから感覚が麻痺してしまうそうです。

子供は庭のある家でのびのび育てたいものですが、せめて命が助かる3、4階までの建物が限度でしょうか。人間は鳥ではないので。

旧中央図書館跡地のアンケート

四月半ば、ポストにアンケートのお知らせが入っていました。

差し出し者は「旧板橋中央図書館跡地利用を考える会」(代表 戸田進さん TEL=070-1451-4386) でした。

『板橋区は「区民の声が寄せられることを歓迎する」としているので、板橋区に在住・在勤・在学する皆さんの声を届けるためにアンケートを実施し、まとめたものを板橋区に提出したいと考えております。ぜひ、住みよい板橋区の実現のため、アンケートにご協力していただければ幸いです。』とありました。

私たちが以前行った陳情は用途地域の問題で行き詰まっていたので、新たな人達の運動は歓迎すべきかと思えます。

アンケートで希望する施設内容は、次の通り。

・音楽、演劇等ができるホール・高齢者のための施設・保育園などの子どものための施設・三十一可能な会議室・調理室・避難所機能を備えた施設・施設を作らず公園とする・区民事務所を移転する・その他 (複数回答可)

用紙の入手は『考える会』に、回答はFAXかQRコードからお願いします。

FAX=03-3968-4386

QRコード=



「松ノ湯」廃業

三月三十一日、偶然「松の湯」の前を通りかかったら茶碗や小皿が自由にお持ち下さいとのお言葉を添えて出している。貼り紙では店主の逝去で今日限り廃業するという。七〇年来の地域の銭湯だからこれは取材しなければと、何かの縁を感じて所用を済ませてから再度訪れてみた。奥に灯りが付いていたのでお別れ会でもしているかと想像していたのだが、灯も消え、皿小鉢も取り込んでひっそりしている。

そこへ自転車で長髪の若者が現われ、銭湯の前でウロウロしたので声をかけてみると、銭湯巡りのマニアで遙々田無から来たという。二人なら取材を受け付けてくれるだろうと勇気を出してピンポンしてみた。しばらくして出てきた方は疲れた様子で取材はお断りになった。考えてみれば長い闘病の末、大黒柱に亡くなられ、後始末やら今後の生活の建て直しやら遺族の方の負担は大変なものだろう。長いお付き合いもあるうから近所の人への挨拶でも、と伺ってみたが、とても無理なご様子だった。そんな状況なのに呑気な取材を考えたこちらが悪い。今までお疲れ様でした。お身体お大事に！とお別れしたが、誰かご迷惑でもサポートしてあげられないものかと思った。

件の若者は気に入らない就職はせず、家賃や生活費は貯金を削っている。今は銭湯巡りのスタンプを集めたり自由を楽しんでいるそうでそんな若者との会話は面白かった。

常盤台公園のはなづくり

ときわ台駅の「常盤小径」(パネル展示のところ)の下にリュウノヒゲがびっしり植えられていたのですが、昨夏の暑さのせいか、特に壁際のものが枯れてしまったよう、まばらな状態になっていました。背の高い雑草も生え、ゴミも少し棄てられていました。

駅には断わりませんでしたが、はなづくりのメンバーで雑草と枯れ草を取り除きました。跡に何か植えるか、元のようにリュウノヒゲにするのか、作業は駅側がしてくれるのか、相談するつもりです。

駅前ロータリーは東上線にとつても誇りうる空間です。他どの駅を見ても、このように広い駅前広場はありません。ヒマラヤ杉やケヤキなどの緑が深いのもゆとりや安らぎを感じさせてくれます。

常盤台住民や前野町住民にとつては玄関に当たるところ。ゴミや空き缶などが散らばっているのはとても気になります。

Wさんは週1でも掃除の声がかかれば喜んで参加すると言っていますが、なかなかひとりでは実行しづらいものです。

公園はチューリップが終り、ツツジやシラーの花時に移っています。ユリもバラももうすぐ花開くでしょう。

